

2017年3月発行 [高等教育ライブラリ 11]

責任ある研究のための 発表倫理を考える

東北大学高度教養教育・学生支援機構編

盗用、不適切なオーサーシップ、二重投稿…。責任ある研究を遂行するためには、研究成果の発表も誠実に行う必要がある。発表倫理の第一人者、生命科学・人文社会科学の研究者が論じる研究倫理の動向と、言語教育の専門家が提案する盗用防止策。

《目次》

はじめに 菅谷奈津恵 (東北大学)

第Ⅰ部 研究倫理の動向と発表倫理

第1章 研究倫理推進の制度化の課題 羽田貴史 (東北大学)

第2章 発表倫理を考える 山崎茂明 (愛知淑徳大学)

第3章 生命科学系論文の作法—デジタル時代に必要なスキルと倫理観—
大隅典子 (東北大学)

第4章 人文・社会科学分野における研究倫理の課題 羽田貴史 (東北大学)

第Ⅱ部 言語教育から見た盗用問題

第5章 大学で必要とされる読みとは何か 石井怜子 (麗澤大学)

第6章 言語教育から引用の問題を考える—パラフレーズを中心に—
鎌田美千子 (宇都宮大学)

第7章 表現の盗用—倫理問題と呼ばれる語学問題— 吉村富美子 (東北学院大学)

付録 盗用を定義し避ける—優れた実践に関するWPAの声明—

監訳：吉村富美子 (東北学院大学) 翻訳：菅谷奈津恵 (東北大学)

*原文：Council of Writing Program Administrators (2003). [Defining and Avoiding Plagiarism: The WPA Statement on Best Practices.](#)

おわりに 菅谷奈津恵 (東北大学)



A5判 170頁 定価(2000円+税)
ISBN978-4-86163-278-5 C3037

📖 ご注文は、お近くの書店、または、東北大学出版会ウェブサイトにてお申込みください。

東北大学出版会

〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1-1 東北大学構内

Tel: 022-214-2777

Fax: 022-214-2778

E-mail: info@tups.jp

ウェブサイト <http://www.tups.jp/>

